

# クリプト便メール連携オプション リリースノート

## 目次

- クリプト便メール連携オプション リリースノート
  - 目次
  - v1.1 リリース内容(2026-06)
    - 新機能
      - メール送信者とクリプト便ユーザの紐づけが可能になりました
      - 承認機能が使えるようになりました
    - 保守更新
      - 専用ドメインに対応しました
      - クリプト便メッセージの通数になるべく少なくなるよう改善しました

## v1.1 リリース内容(2026-06)

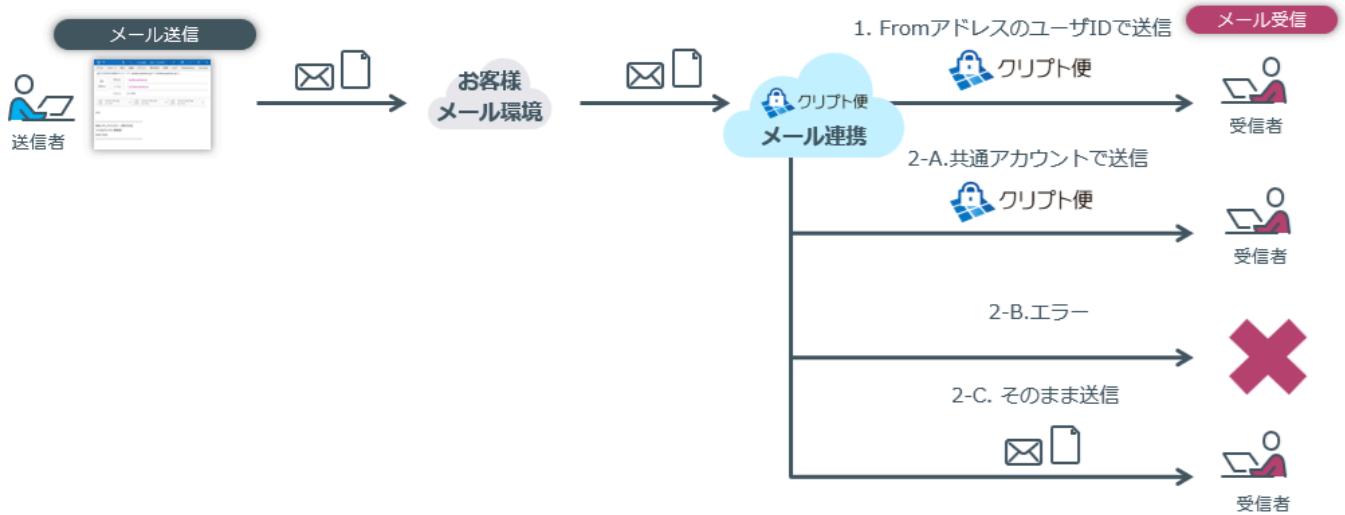
### 新機能

#### メール送信者とクリプト便ユーザの紐づけが可能になりました

送信メールのFromメールアドレスがクリプト便ユーザのメールアドレスとして登録されており、メール連携用グループに所属している場合、当該ユーザの送信として処理することが可能です。もしクリプト便ユーザが登録されていない、またはメール連携用グループ未所属の場合は以下の3パターンのいずれかの処理※を行います。

- A. メール連携用デフォルトユーザで送信する
- B. エラーとし、送信しない
- C. クリプト便連携せずに添付ファイル付きメールをそのまま受信者に送信する

※オプション導入時に指定。すべてのメールに対して一律で適用されます。



## 承認機能が使えるようになりました

送信メールのFromメールアドレスがクリプト便ユーザのメールアドレスとして登録されている場合、承認機能を利用できるようになりました。ユーザが所属するメール連携用グループの承認設定によって承認要否や承認者を決定します。

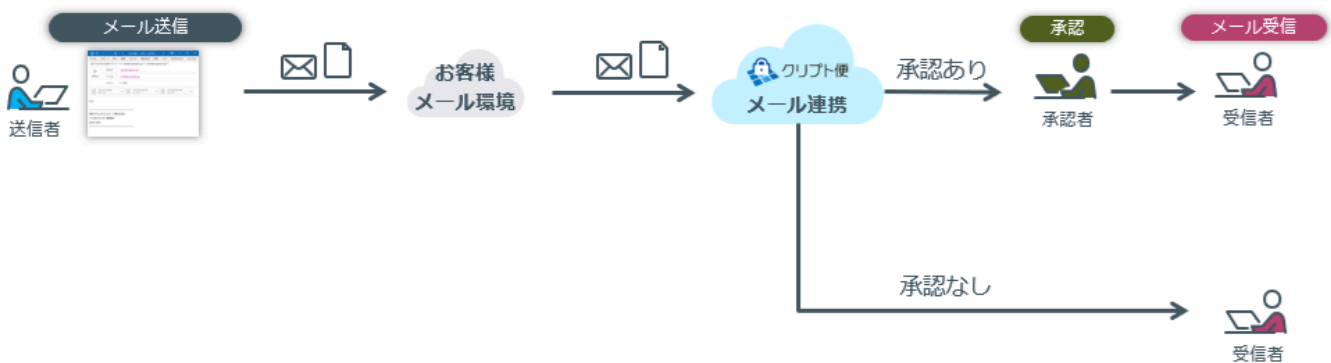
### 1. 承認ありの場合

メール連携用グループに登録されている承認者が承認を完了次第、クリプト便メッセージが送信されます。

なお、本文メールは承認を待たずに送信されます。

### 2. 承認なしの場合

メール連携の処理が完了次第、クリプト便メッセージと本文メールが送信されます。



## 保守更新

### 専用ドメインに対応しました

専用ドメインをご利用の場合でも、メール連携オプションをご利用いただけるようになりました。

### クリプト便メッセージの通数なるべく少なくなるよう改善しました

複数の宛先メールアドレスが含まれるメールを処理した際、最大で宛先の数だけクリプト便メッセージが送信される場合がありますが、本バージョンよりこの点を改善しております。